

「分野別推進戦略」中間フォローアップにおける
取りまとめ様式等について

平成20年12月18日
総合科学技術会議
有識者議員会合了承

1. 分野別推進戦略の中間フォローアップの方針

第3期科学技術基本計画（以下、「基本計画」という。）における「分野別推進戦略」については、平成20年度末をもって計画策定から3年を経過する。このため、計画策定後の社会情勢の変化等も踏まえつつ、計画の進捗状況を把握し、必要に応じて施策の変更などを行うことを目的として、詳細なフォローアップ（以下、「中間フォローアップ」という。）を実施することが求められている。

この中間フォローアップの取りまとめ方針については、平成20年6月、分野別推進戦略総合PT及び基本政策推進専門調査会における審議を経て、参考資料のとおり、整理されている。

2. 取りまとめの様式等

過去の単年度ごとのフォローアップの実施事例も踏まえ、次ページの項目及び内容について整理する。

3. 今後のスケジュール

1月以降、「重要な研究開発課題」及び「戦略重点科学技術」の進捗状況等について関係省庁からの情報収集を開始する。

その後、各分野別PTにおいて別途取りまとめを進めている「現状における課題や問題点の洗い出しとそれらに対する対応方針等」の整理結果も踏まえて、来年度4月頃を目処に分野別推進戦略に関する中間フォローアップの取りまとめを行い、総合PT及び基本政策推進専門調査会の確認・了承を得た上で、基本計画全体としての中間フォローアップの一部として、総合科学技術会議に報告する。

目次構成

1. 分野別推進戦略について

(1) 中間フォローアップの方針

※分野別推進戦略の中間フォローアップの方針について説明する。

(2) 予算の状況

※全分野の予算の推移、重点化の状況等について、図を中心に説明する。

2. 各分野における進捗状況と今後の取組（各分野別に整理）

(1) 状況認識

※戦略策定以降の期間における各分野を取り巻く状況の重要な変化（特に海外の状況に留意）について記述する。

(2) 重要な研究開発課題及び戦略重点科学技術について

① 全体的な概況

※全体的な進捗状況について総括的に記述する。

② 重要な研究開発課題の進捗状況

※重要な研究開発課題に関する研究開発目標及び成果目標の進捗状況について総括的に整理する。また、様式1により、各課題毎の状況を整理する。

③ 戦略重点科学技術の進捗状況

※戦略重点科学技術について、目標達成に向けて特に進展がみられたもの、成果の得られたもの等を中心に、全体の進捗状況について整理する。また、様式2により、各課題毎の状況を整理する。

(3) 推進方策について

※戦略に規定されている推進方策等に関し、具体的に実施された事項、進展のあった事項を中心に事例紹介を交えつつ、記述する。

※特に、平成19年度に開始された6連携群については、中間段階でのフォローアップとなるよう、これまでの活動と進捗の状況について具体的に記述する。

(4) 今後の取組について

※3年間の取組状況を踏まえ、施策の見直しの必要の有無について判断し、追加・変更・削除等の内容について、その背景、理由等とともに、記述する。また、目標達成に向けた今後の取組として、21～22年度の取組及び中長期的な検討事項を記述する。

①「重要な研究開発課題」及び「戦略重点科学技術」について

②推進方策について

③留意事項

3. 政策目標達成の進捗状況

※各「重要な研究開発課題」及び「戦略重点科学技術」の進捗状況を踏まえ、個別政策目標、中政策目標等毎に目標の進捗状況について、記述する。

また、政策目標と主な研究開発課題及びその進捗状況との関係の俯瞰図を作成する。

様式1 重要な研究開発課題の進捗状況(案)

重要な研究開発課題	概要	研究開発目標 (○:計画期間中の研究開発目標、 ◇:最終的な研究開発目標)	3年間の 予算(億 円)	研究開発目標の達成状況	目標達成のための課題
①-1に対して.....を提供 できるネットワークを実現する。	○ 2010年までに、.....するための技術を実現する。【○○ 省】		■ ■ ■ ■を図り、.....を可能とするネットワークを実証する。
		○ 2009年度までに、.....を実現する技術を確立する。【○ 省】		■ ■ ■するために必要な.....を開発する。

留意事項

○「研究開発目標の達成状況」は、研究開発目標に対する2008年度末時点での達成水準を5段階で表す。
 ■■■■■:2010年時点での研究開発目標を達成した。 ■■■■■:当初計画以上に進捗しており、2010年時点での研究開発目標達成まであと一歩のところ。
 ■■■■:当初計画どおり、順調に進捗している。 ■■■:当初計画と比べて、若干の遅れが生じている。 ■■:当初計画に比べて、かなりの遅れが生じている。(研究開発目標の達成が危ぶまれる状況)

○「目標達成のための課題」については、計画期間終了時に研究開発目標を達成するために今後対処すべき課題等を記載している。

様式2 戦略重点科学技術の進捗状況(案)

戦略重点科学技術	概要	研究開発目標	3年間の 予算(億 円)	研究開発目標の達成状況	目標達成のための課題
.....を.....する.....技術	○ 2010年までに、.....するための 技術を実現する。【○○省】	***	■ ■ ■ ■	実証実験の実施体制を整備し、.....のための.....実験を行う。
		○ 2010年までに、.....するための 技術を実現する。【○○省】	***	■ ■ ■ ■を実施するための財源を確保し、.....を検証する。。
		○ 2010年までに、.....するための 技術を実現する。【○○省】	***	■ ■	現在の計画にしたがって.....を開発し、.....を実証する。

留意事項

○「研究開発目標」は、各「戦略重点科学技術」に対応する「重要な研究開発課題」の「研究開発目標」を記載する。
 「戦略重点科学技術」の内容に合致した「研究開発目標」がない場合には、関連する課題の研究開発目標を適宜修正して記載する。
 ○「研究開発目標の達成状況」は、研究開発目標に対する2008年度末時点での達成水準を5段階で表す。
 ■■■■■:2010年時点での研究開発目標を達成した。 ■■■■■:当初計画以上に進捗しており、2010年時点での研究開発目標達成まであと一歩のところ。
 ■■■■:当初計画どおり、順調に進捗している。 ■■■:当初計画と比べて、若干の遅れが生じている。 ■■:当初計画に比べて、かなりの遅れが生じている。(研究開発目標の達成が危ぶまれる状況)

○「目標達成のための課題」については、計画期間終了時に研究開発目標を達成するために今後対処すべき課題等を記載している。

俯瞰図のイメージ

〇〇分野における主な研究開発課題と政策目標の関係

理念	大政策目標	中政策目標	主な研究開発課題とその進捗段階					
人類の英知を生む	飛躍知の発見・発明	(1) 新しい原理・現象の発見・解明						
		(2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造技術	の実現			
科学技術の限界突破		(3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引		形成シミュレーターの開発技術
		(4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服					整備
世界に勝つ国力の源泉を作る	環境と経済の両立	(5) 環境と調和する循環型社会の実現					整備
		(6) 世界と魅了するユビキタスネット社会の実現システムの確立の開発衛星技術整備
	イノベーター日本	(7) ものづくりナンバーワン国家の実現の確立の開発衛星技術開発技術
		(8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化技術の開発衛星技術
健康と安全を守る	生涯はつらつ生活	(9) 国民を悩ます病の克服				技術	
		(10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現		開発ビジョン技術	
	安全が誇りとなる国	(11) 国と社会の安全確保	技術システム			
		(12) 暮らしの安全確保				技術

